

経営比較分析表（平成29年度決算）

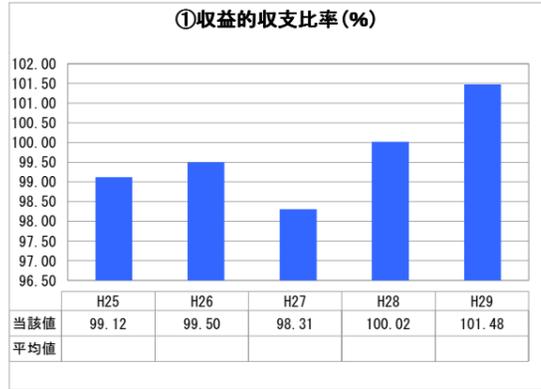
高知県 香美市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.69	77.62	2,376

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,407	537.86	49.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,290	1.02	2,245.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

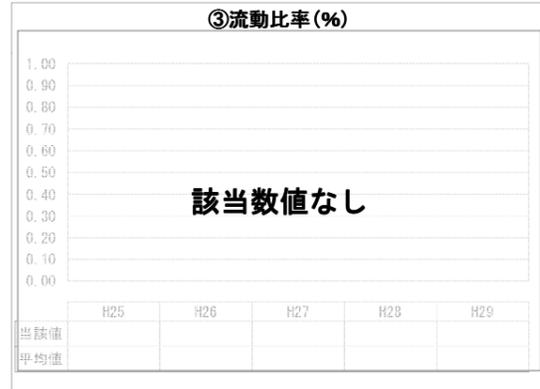
1. 経営の健全性・効率性



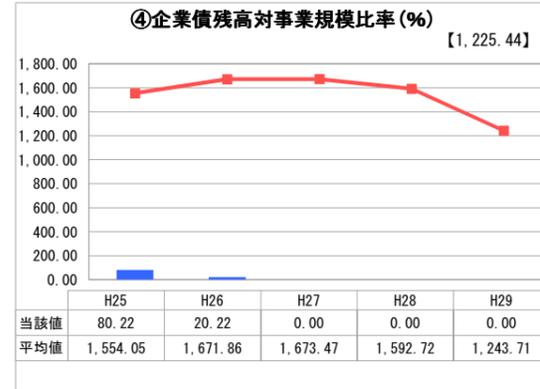
「単年度の収支」



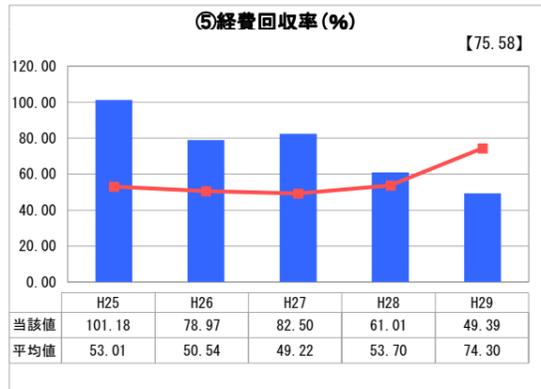
「累積欠損」



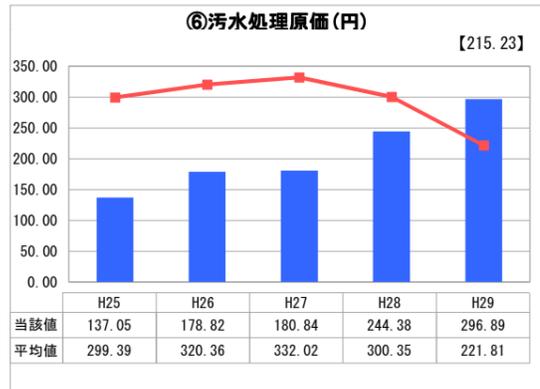
「支払能力」



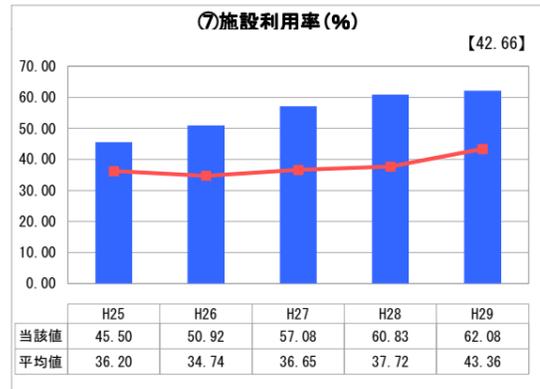
「債務残高」



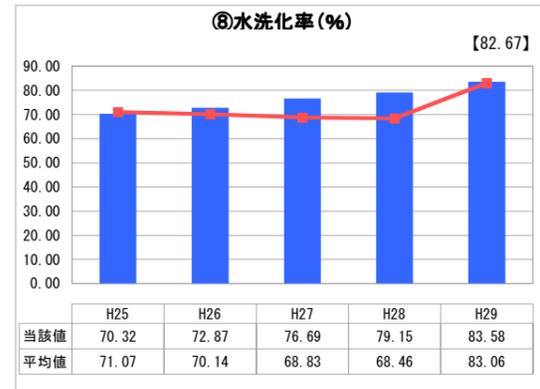
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

④企業債残高対事業規模比率については、地方債償還金は一般会計からの基準内繰入金で賄われており、当事業が負担しているものはない状況です。
 ⑤経費回収率については、使用料収入で維持管理費を賄っていない為、一般会計からの繰入金に依存しており、健全経営とは言えない状況となっています。
 ⑥汚水処理原価は、処理場維持管理費の増額により、増加しています。
 ⑦施設利用率は、年々緩やかに上昇しています。
 ⑧水洗化率についても緩やかに上昇していますが、施設等の整備も完了していることから、今後の飛躍的な上昇は見込めない状況です。

2. 老朽化の状況について

平成7年事業開始、平成15年供用開始した比較的新しい施設です。平成25年度に管路や施設の整備は完了しています。また近年、伏流水が原因と推察される洗掘による管渠やマンホール周辺の陥没等が増加していることに加え、不明水の流入によってマンホールポンプや処理施設に負荷が掛かり、機械類の故障や摩耗も増加しています。これらの原因によって維持管理費が増加しているほか、不明水の流入によって有収率が低調となり、有収水量の適正確保にも支障をきたしております。平成28年度から不明水調査を行っており、平成30年度に調査を終える予定です。管路や施設の老朽化対策として、平成30年度から平成31年度の2カ年で維持管理計画（ストックマネジメント計画）の策定を実施し、計画的に更新・維持管理を行っていきます。

全体総括

平成25年度に面整備は終了していることから、企業債債務残高が年々減少する傾向にあります。しかしながら、下水道使用料収入の大幅な増加は見込めず、今後の経営については、赤字幅は大きく悪化しないものの大変厳しい状況となっております。
 今後も、下水道総合地震対策計画に基づき、現在実施している管渠の耐震診断を引き続き行っていくとともに、不明水の発生区域を特定し、不明水対策に取り組みます。
 さらに、接続勘奨による有収水量及び下水道使用料の適正確保に努めるとともに、下水道使用料の改定についても引き続き検討してまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。